

学生調査と教育改善

～教育・学習過程モデルの適用可能性～

2010年9月13日(月) 14:00～17:30 (受付開始 13:30)

場所：東北大学川内北キャンパス マルチメディア教育研究棟 6階大会議室

趣旨説明

串本 剛 講師

東北大学
高等教育開発推進センター

報告 1

「J-CIRP の開発意図と
期待される役割 (仮題)」

山田 礼子 教授
同志社大学
社会学部教育文化学科

報告

報告 2

「筑波大学における
学生調査の利用と教育改善：
知識情報・図書館学類の事例」

溝上 智恵子 教授

筑波大学
図書館情報メディア研究科

報告 3

「全国大学生調査の
開発意図と
期待される役割 (仮題)」

小方 直幸 教授

広島大学
高等教育研究開発センター

報告 4

「宮崎大学における
学生調査の利用と
教育改善 (仮題)」

藤埴 智一 准教授

宮崎大学
教育研究・地域連携センター

18:00 ～

シンポジウム終了後、
情報交換会を予定
しております。

会費：3000 円

Everyone is welcome!

参加無料・当日参加歓迎

学生生活の実態把握や教育改善の手懸りを探る手段としての学生調査は、とりわけ今世紀に入って大学教育の質保証に関する議論が本格化する中で、我が国の大学においても広く利用されるようになっていきます。しかし、闇雲な情報収集では教育改善につなげることは困難であり、開発・実施者と回答者である学生双方の徒労感を生みだすだけの結果となることも珍しくありません。では、調査の結果が活用されて実際に何らかの変化が起こるには、どのような条件が必要なのでしょう。本シンポジウムでは、様々な立場から学生調査に係わる4名の先生方に主要な論点を提示して頂いた上で、参加者の皆さんと共にこの問題について考えてみたいと思います。

—— シンポジウム・情報交換会の参加について：2010年9月3日(金)までにお申し込みください ——

Web
からの
申し込み

URL: <http://www.he.tohoku.ac.jp/>
※行事カレンダーからお進み下さい。

問合せ先

高等教育開発推進センター 串本 剛
Tel : 022-795-7669
E-mail : kushimoto@he.tohoku.ac.jp

e-mail
での
申し込み

※Web 申し込みが不可の場合、ご利用ください。
氏名・所属・連絡先 (e-mail 又は電話番号) を明記の上、高等教育開発推進センター事務室までお申込みください。
E-mail : cpd_office@he.tohoku.ac.jp Tel : 022-795-7551

PFFP
Preparing Future Faculty Program



TOHOKU
UNIVERSITY

このシンポジウムは、教育関係共同利用拠点「国際連携を活用した大学教育力開発の支援拠点」プログラムのひとつであり、参加者には受講証を発行するとともに、利用者としての登録をお願いしています。

主催：東北大学高等教育開発推進センター／大学教育支援センター